

藤 沢

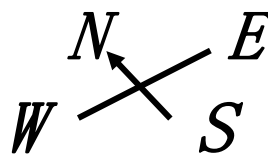
2022年9月1日

第340号

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット



主な記事

- ・家族で考える平和
- ・シェアサイクルに乗ってみた
- ・リサイクルプラザ夏祭り
- ・気候時計を作る ・福島っ子リフレッシュ

<http://econet2015.sakura.ne.jp>事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

地域防災対策についての2つの注意点

新防災ナビの活用について藤沢市では毎年の事業進捗目標と実績がアクションプラン (A P) 年度進捗率としてホームページで示されるようになるなど昨年からの前進面もありますが、以下2点について注意をしておきたい。

1. 津波避難ビルの指定区域の見直しに伴って避難ビルが解除されています

津波避難ビルの指定区域の見直し (これまでは東海道線以南としていましたが、津波浸水想定区域を一部でも含む丁目単位の地域が対象になった) に伴い、2019 年度に 216 あった避難ビルが、20 年度には 165、21 年 3 月にはさらに解除されて計 138 施設になったことが AP を見てわかりました。

昨年配られた防災ナビは 2021/6 月発行ですので、この解除された 138 施設が掲載されていることとなりますが、2022/4 月時点は 2 施設増え 140 施設となっており (市HP「津波避難ビル一覧」)、今後も少しずつですが更新される予定です。大事な避難ビルなので、解除された避難ビル周辺住民にはもとより、防災ナビ改訂頁については周知徹底の必要があります。

2. 防災ナビ後に設定された高潮浸水想定についての注意点

2021 年 8 月に神奈川県県土整備局から公表された高潮浸水想定区域図「相模灘沿岸」解説によると、藤沢での高潮浸水想定の作成にあたっては、我が国における既往最大規模の台風 (例 / 1959 年の伊勢湾台風、最高潮位 3.9m) による潮位または波高が大きくなる複数の経路・移動速度を設定したシミュレーションによるとしています。また同時に起きる台風による洪水としては、「河川整備の目標とする降雨による洪水」を条件としていることも注意点です。

このことから、海岸での高潮だけからの浸水を見る場合には、この高潮浸水想定図と「河川整備の目標とする降雨による洪水」計画図を見比べる必要があります。これによると、引地川と境川の河川整備の目標計画図による洪水では国道 134 号線は殆ど冠水しないものの、既往最大規模の高潮による浸水図では鵜沼海岸と片瀬海岸地域の国道 134 号線の殆どが 0.3 ~ 0.5 m の冠水となっている事実は重要です。

現在計画中の鵜沼海浜公園スケートパーク (元鵜沼ボールガーデン) は来年 10 月に完成予定とされていますが、津波や高潮の際が心配です。住宅地の目の前にある公園北側の 2 ~ 3m の土手が、この計画によって半分以上撤去され、津波と高潮による防災対策が欠けていることがわかりました。鵜沼海浜公園の建設のために公園北側の土手をも撤去するなどは論外です。

(山内幹郎)



ムクゲ (木槿) 大庭地区で

家族で考える平和

ここ数年、8月には平和の波行動にできるだけ子どもたちを連れて参加するようにしています。

今年で3年目になった平和の鐘つきでは、地元の天獄院さんの協力のもと、原爆投下時刻に合わせて8



天獄院で黙とうから始まり

月6日と9日に鐘をつき、その後に絵本を読み、平和や戦争について考える時間を作っています。

6日は22人、9日は15人の参加半数が子どもで、今

年は家族で参加する方もいて、賑やかで希望を感じの一時となりました。

鐘つき後は、お寺の部屋を借りて、谷川俊太郎さんの「へいわとせんそう」という絵本を読みました。イラスト、文章も簡潔ですが、とても考えさせられ、対話するのに最適な本です。子どもも大人も真剣に聞き入り、一人ひとりから感想を聞きました。



絵本読み聞かせ

今年は特にロシアによるウクライナ侵攻があり、日本でも軍事費2倍や核共有などが言われるようになり、皆さん、戦争が身近に感じられて怖い、大人の責任でどうにかしなければ…という話しをしていました。

地元には平和や戦争について語れる場がある喜びやありがたさを感じ、定着してきたこの平和の波行動をこれからも続けていきたいと強く想う夏になりました。9日には他のグループは30人程が宇都母知神社に集り鐘を突き宮司さんの講話、「長崎の鐘」を歌い、峠三吉「人間をかえせ」の詩の朗読をしました。

また原爆展や「不戦の誓い」への参加、広島・長崎の原水禁大会へのリモート参加もあり、たくさんの平和の行事への参加は子どもたちも学べるよい機会だったと思います。

子どもたちと、そして大人同士でも対話し、自分の

まわりから平和をつくり、次の世代に平和をつなげていきたいです。
(山口哉子)

リサイクルプラザ藤沢フェア Eco²夏祭り

リサイクルプラザ藤沢でゴミや環境に関する展示、啓発など各種の催しが行われていました。

入り口では映画「バックトゥザフューチャー」に登場した「デロリアン」のレプリカ車両がお出迎え、着なくなった服を燃料にして走るそうですがどこかでお借りしたのでしょうか。

商品プラの容器リユースでは100円以上寄付で新品同様のケースなど配布。建物の中では様々なワークショップや展示があり説明を聞いたり楽しむことができました。ゴミや環境に関しての催しは必要と思います。

北部環境事業所の新設2号炉(焼却炉)の進捗状況と現場見学会は予約がいっぱいで見学できず残念でした。屋内のイベントでは、展示や催しがいくつもあり藍染体験、石けん作り、リサイクル工作など、紙芝居「よくわかる気候危機のお話」では子どもたちも真剣に聞いていました。

私の注目は「コンポスター環(たまき)」で堆肥作り。農家レストランいぶきが販売しているバグ状で微生物入りの土から生ゴミをたい肥にする、持ち運びでき便利、これなら集合住宅でも気にならない、一個欲しいなと思いましたが講習終了でパンフをいただきました。



スタンプラリーをたどると廃棄物処理施設では処理に使う重機が色々あり、子どもたちが乗ってみたい写真撮影をしていました。



貰ったチラシによると食器類の持込みを8月から受け付けるとの事、今まで不燃ゴミの食器は、欠けたり割れていなければ再利用を目指し、ゴミの減量にもつながると試行的に行

うそうです。

会場は市北部のリサイクルプラザなので移動は

少々不便。駐車場が満車状態でした。午前中だけでもあり親子連れでにぎわっていました。(H)

シェアサイクルに乗ってみた！

自転車での環境対策は可能性があるが、藤沢市内にもハローサイクリングというシェアサイクルのステーションである専用駐輪場（以下Pと記す）が目立つようになった。ホームページによると、市内だけでも1か所に数台から40数台の規模で、93か所ものPがある。そこに自転車がある場合借りる事ができ、市外を含むどのPでも空きがあれば返してもいいというもの。全て電動アシスト自転車。最初の30分130円で延長15分ごとに100円、12時間まで最大1800円。利用にはスマホアプリかWEBで会員登録する必要がある。

試しに使ってみた。真夏の休日、自宅に最寄の、辻堂と藤沢の中間のショッピングモールのPから鵜沼海岸のPまで。21分で着き130円で移動出来た。引地川沿いに自転車道があり効率良かった。そのまま海岸を裸足で足だけ海水浴などしながら江ノ島のPまで歩き、また1台借りた。ここはたいてい40台程度止まっている。他のPは1台も無く売り切れになってる事もよくあるが、ここはかなり恵まれたP。これは想像するに、バスなどが動かない時間帯に、釣り客などが行きだけ使ってるのかな？

その江ノ島からショッピングモールのPまで、今度は28分かかり、ぎりぎり130円。このPは売り切れになってる事も良くある。

自転車が余っているPから、不足気味のPに1台持って行ったつもり。もっと足りない所で走ってくれ。頑張れ、江ノ島から近所に運んでくれた1台。なんて考えてたらなんだか愛着が湧いて、その借りたナンバーの自転車がどこで頑張ってるのかアプリで見てた。ライフタウン→湘南台→長後→寒川→茅ヶ崎→寒川と10日間ほどでも近辺をあちこち旅していた。

私が試した感じでは、このシェアサイクルというものは、それなりに便利だが、自転車がある事が多いPと無い事が多い



Pの格差を少なくする必要があるようだ。1台も無ければ借りれないし、満杯だと返す事が出来なくなるわけだ。

売り切れのPに返したり満杯のPから借りると料金が安くなるとか、知恵を絞ってほしい。

(内藤繁)

気候危機時計を作ってみる

気候危機アクション藤沢では毎月「気候危機時計」を掲げたスタンディングを続けています。

この8月にはあと7年を切り危機的状況で、いよいよ温暖化対策は待ったなし！！



そこで「藤沢らしい気候危機時計」を作るためのワークショップを8月に開きました。

気候危機時計とは気候変動の危機的状況を数値化したのが「気候時計」で、地球上の平均気温を1.5℃未満に抑えるのに残された時間を示し、私たちの生活に係わる最も重要な数値の一つです。

最新の科学に基き私たちは **いつまでに、何をなすべきか** を問いかけています。

パリ協定で合意した1.5℃未満に抑えるには、排出できるCO₂は400Gtで、カーボンバジェット（炭素予算）が根拠です。ポータブル気候時計の試作については開発チームを作り、部品を注文し試作に取りかかることになりました。参考にしたのは藤沢市の「借金時計」です。→

「気候危機時計」の自作アプリはこちら → (f-itstar.org)

その他、色々な「気候時計」が紹介されました。これらをベースに「藤沢らしい気候危機時計」の開発を進めます。あと6年を危機ととらえ啓発が必要です。

(NPO 気候危機アクション藤沢 開発チーム)

ふくしまっ子リフレッシュ応援！

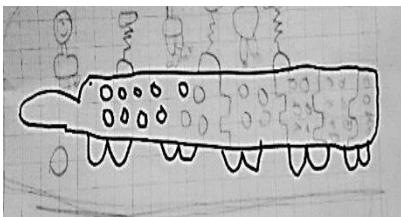
福島原発事故後、毎年春、夏と年2回開催した、放射能から子どもたちを守る「ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南」保養活動は、15回目を終えた2019年夏以来3年間、コロナパンデミックのため、未だに再開できないでいる。

何かできないかと毎年知恵を絞り、2020年はオンライン交流会を企画したが、参加が難しく中止に。2021年春は事故から10年の節目に当り、今までを振り返って、これまで参加した子どもたちや保護者の方々から、日常生活、不安や希望、スタッフの感想など掲載して文集をつくり、福島の方々に届け、ささやかな交流ができた。

今年2022年春は、神奈川にお住いの福島避難者の方々に連絡を取り、江の島で磯遊びと海のウォッチングをおこない交流をしたが、避難者の参加は少なかった。

その後もコロナ禍で湘南に呼べない。そこで各大家族でリフレッシュをしていただき、それを応援しようと20家族と限定し補助をすることにし、南相馬市と相馬市の幼稚園、小学校低学年に宣伝をした。するとその日から次々と申し込みが殺到し、10日ほどで募集枠に達してしまった。皆さんとても喜んで、京都や与論島、広島へと今まで行けなかったところへやっと思行けたと喜んでいただけた。

事故後11年経ち、除染したとはいえ、林や森は除



染が難しく近くに放射能の高い地域は数多い。

身体も精神も心からリフレッシュ

していただけるよう、これからも支援していきたいと思う。

(青柳)

放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$) 地上50cm

8/25 曇り 市役所分庁舎前 0.076

8/18 晴 辻堂海岸 0.028

ECONET INFORMATION

▲藤沢母親大会

記念講演 太田伊早子弁護士

9月19日(月・祝)13:00-

藤沢市民会館第一展示ホール 資料

代500円



▲ふじさわ平和文化展

9/20~25 藤沢市民ギャラリー

第3展示室(Odakyu 湘南 GATE6 階)

主催 実行委員会 0466-44-5067

▲憲法9条と平和外交

講師 布施祐仁さん(フリージャーナリスト)

9月23日(金・祝)13:30-

藤沢市民会館第一展示ホール 参加費500円

主催 ふじさわ・九条の会 090-9239-0864

▲「サマシヨール(自主帰還者)」上映とトーク

原発事故後元酪農家の長谷川健一さんはふるさとに戻るのか決断を迫られる。豊田直巳監督

10月10日(月祝)10:00-12:30

藤沢市民会館第一展示ホール 当日券1000円

主催/藤沢上映実行委員会(福島の子どもたちとともに・

湘南の会 NPO こどもたちに未来を in 湘南)

連絡先 080-5099-4264 青柳



▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

【ゆうちょ銀行 加入者名 藤沢エコネット

口座番号 00240-9-46501】

◆事務局会議 9月3日(土)

10:00~六会公民館

《編集後記》9月1日は防災の日。大雨による浸水やがけ崩れに注意し被害を防ぎたい。

福島原発事故被災地の困難を顧みず、原発新設、再稼働と岸田首相の表明には驚いた。脱炭素推進のためとはいえ放射性廃棄物の処分場すらない現実、原発汚染水の処理も問題だらけ、その方策に知恵を絞っていく事こそ優先されるはず。小泉元首相らは「火事場泥棒的な原発政策」「原発カルト」とも批判している。(H)